

住まいで最も自慢したいところはリビング？

～ウェブアンケートから住宅イノベーションのヒントを探る～

住宅市場研究室 小間 幸一 kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp

住まいを購入した人が自慢したい部分はどこだろうか？それに対する答えは、簡単なようで意外に難しい。住まいは多様なスペースや数多くの設備や機能の集合体だ。そのため、ここだとはなかなか絞り込めないのではないだろうか。

しかし、住まいを購入する側から見れば自分が購入後に満足するための重要なポイントでもあるし、住まいをつくる側から見ればお客様を満足させるための重要なポイントともいえる。どちら側から見ても抑えるべき点なのだ。

そこを明らかにするために、当研究所では愛知県在住で住まいを購入した人や購入希望者へのウェブアンケート（サンプル数＝215件）を6月に実施した。

結果を見て驚いた。なんとリビングが最も多い支持を集めたのである。

●自慢したい、評価されたいところランキング（表1）

住まいを購入した、購入したい人にとって最も自慢したいところの第1位はリビングで40.47%という圧倒的的支持を集めた。2位はキッチン（20%）、3位は収納（19.07%）、さらにダイニングと交通利便性や買い物利便性の高い立地が同率で4位（18.60%）、5位は南向き・日当たり（18.14%）となった。

リビングは家族の集まる場所。又、来客のスペースでもある。くつろぎやコミュニケーションの拠点として重要なことは誰しも十分承知している。しかし、40.47%という高率で支持が集まるとは全く予想していなかった。関係者の自前の予想では、各選択肢が10～20%前後で並ぶのではないかと、特に設備系の選択肢が選ばれやすいのではないかと思われていたからだ。

自慢したい、評価されたい第1位ということは、住宅購入者や購入希望者の関心の高さを間違いなく示すものだ。裏を返せば、住まいの作り手側がリビングというテーマに再チャレンジする価値が大いにあることも示しているともいえる。求められているのはリビングに新しい楽しみ方や使い勝手を加え、今まで全く気がついていないリビングを創ることではないだろうか。

リビングの再商品化。作り手が意外に見落としていた住宅イノベーション（革新）のテーマかもしれない。

以上

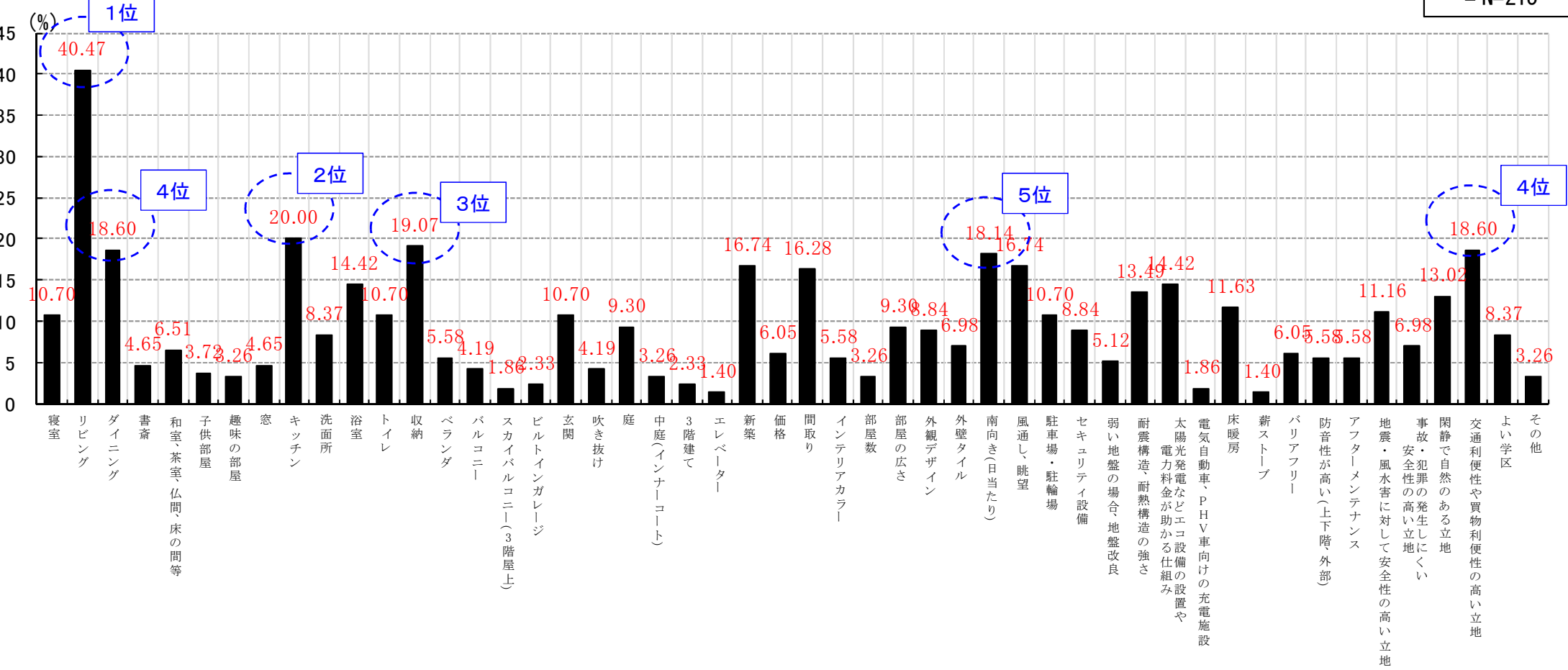
本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

愛知県における住宅種類別の人気エリアはどこ？

表1. 自慢したい、評価されたいところランキング

自慢したい、評価されたい所(複数回答)

■ N=215



調査対象者 : 愛知県在住で3年以内に戸建住宅・マンションを購入した、または3年以内に戸建住宅・マンションを購入したい人
 サンプル数 : 2013年6月調査 n=215
 調査会社 : 株式会社インテージ www.intage.co.jp
 データ分析 : 東新住建株式会社住宅市場研究室